

# 教育の情報化推進フォーラム

開催日 平成31年 3月7日(木) ~ 8日(金)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

後援 文部科学省・総務省・経済産業省ほか



テーマ **新学習指導要領全面実施に向けて**

基調講演

[3月7日(木)]

## 「新学習指導要領で目指す学びとICT活用」

市川伸一氏（東京大学大学院 教育学研究科 教授）

新学習指導要領で目指す「主体的・対話的で深い学び」は、習得・活用・探究という学習プロセスの全体に関わるものである。ただし、この中で、ICTがとりわけ有効性を発揮するのは、探究や創作の学習活動であろうと思われる。大学や社会での学習で不可欠なツールとしてICTが活用されているのと同様のことが初等中等教育でも起こるであろう。操作自体に慣れることや、基礎基本の習得を超えた場面でのICT活用が期待される。

総括パネルディスカッション

[3月8日(金)]

## 「プログラミング教育の課題と展望」

〈コーディネーター〉赤堀侃司（一般社団法人日本教育情報化振興会 会長）

〈パネリスト〉

兼宗進氏（大阪電気通信大学 工学部 電子機械工学科 教授）

中川哲氏（文部科学省 初等中等教育局 プログラミング教育戦略マネージャー・

「未来の学びコンソーシアム」プロジェクト推進本部 本部長代理）

中村めぐみ氏（つくば市教育局指導課 兼 総合教育研究所 指導主事）

渡邊茂一氏（相模原市教育委員会教育局 学校教育部教育センター 学習情報班 指導主事）

2020年からの小学校プログラミング教育の全面実施には様々な課題がある。なぜプログラミング教育が必要なのか？年間指導計画をどう作ればいいのか？どのくらいの授業時数が必要なのか？コーディングは必要なのか？どの教科と連携すればいいのか（カリキュラム・マネジメント）？多くの教育関係者が頭を悩ませているところだと思う。しかし、2020年度からの実施までにはもう時間がない。官民が協力しながら、現実に可能な姿を議論し、広げていきたい。そこで、さまざまな立場のパネリストから、現状の課題と解決策を含めた展望をお話いただきたいと考えている。会場に来られた皆さんに、こうすればいいのか、この方法で真似したい、この実践を取り入れたい、というお土産を持ち帰ってもらいたい。

特別講演 1

〔3月7日(木)〕

## 「甲子園での5打席敬遠からの野球人生

### ～スポーツを通じた人材育成～

河野 和洋 氏

明徳義塾高校で夏の甲子園に投手として出場。星稜高校戦でベンチの指示により、松井秀喜氏を5打席連続敬遠した。専修大学では打者に専念して東都通算21本塁打を放ち、ドラフト候補に。ヤマハ、米独立リーグを経て社会人クラブチームの選手兼監督として、チームを全国ベスト4へ導き現役を引退。元メジャーリーガー黒田博樹氏は大学時代の同志でもある。

三度の飯より野球が好きで、寝ても覚めても野球から離れることはなく現役にこだわり続けた。選手として、そして指導者としての立場から、これまでの野球人生とスポーツを通じた人材育成について伝えたい。

特別講演 2

〔3月8日(金)〕

## 「諸外国の教育動向」

岸本 瞳久 氏（文部科学省 総合教育政策局 調査企画課 外国調査官（併）国際教育統計専門官）

グローバリゼーションの進展と知識基盤型経済の出現は各国における教育政策の優先度を引き上げた。さらに、今日のAIの発展は、教育の可能性を広げる一方で、新たな課題も提起するようになっている。こうした状況を踏まえて、米国を中心とする諸外国の教育政策の動向を解説する。

### セミナー / ワークショップ



### 最新教育 ICT 展示会



### ICT夢コンテスト表彰式 / 事例発表



最新情報はホームページをご参照ください。<https://www.japet.or.jp/event/forumedu/>  
なお、講演タイトル等は予告なく変更となる場合があります。

